

- ▶ 大牟田市では不在地主の増加で、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく取組みを進め、森林整備を推進する方針。
- ▶ 森林経営管理制度の推進
 - ・ 森林経営管理制度を推進するため意向調査及び境界明確化を民間事業者へ委託を行った。
- ▶ 令和4年度において、以下の取組みにより、森林の有する公益的機能の発揮につなげた。
 - ・ 荒廃した市有林の間伐等を実施した。
- ▶ 次年度以降は計画に沿った森林境界明確化及び意向調査を行う。

□ 事業内容

1 森林所有者への意向調査、境界明確化の実施

- ・ 令和2年度に策定した「大牟田市森林経営意向調査実施計画書」に基づき、市有林に隣接した森林所有者を対象に意向調査及び境界明確化を実施した。

【事業費】 10,280.6千円（全額譲与税）

【実績】 意向調査1.6ha、境界明確化32.75ha

2 間伐等の森林整備の実施

- ・ 私有林のほとんどが国土調査未了地であるため、私有林の間伐実施区域を決定するまでの間、森林整備を進めるため、市有林の間伐等整備を実施。

【事業費】 475.2千円（全額譲与税）

【実績】 間伐0.62ha



（境界明確化説明会）



（市有林間伐）

□ 事業スキーム

1 森林所有者への意向調査及び境界明確化の実施



2 間伐等の森林整備の実施



□ 工夫・留意した点

- ・ 意向調査実施時や森林整備、災害発生時の対応の際には、土地の境界が確定していることが求められるため、森林境界明確化に係る事業の実施について、航空測量レーザ及び資源量・地形解析データを用いて行った。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額	12,734千円
②私有林人工林面積（※1）	211ha
③林野率（※2）	23.1%
④人口（※3）	111,281人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1,2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より

- 令和3年度に日本初『動物園内にある絵本美術館』がオープンし、多くの来園者に木の暖かみ、温もりを感じられる機会の提供を行うため、木製備品を導入した。
- 令和5年度以降も公共施設での木製備品導入を推進する。

事業内容

1 公共施設の木製備品導入事業

- 令和3年10月1日に大牟田市動物園内にオープンした『ともだちや絵本美術館』において木製備品等を導入。

【事業費】 1,000千円（全額譲与税）

- 【実績】 ・学校備品再生ポスト：1基 ・A型サイン：5基
 ・学校備品再生照明：2基 ・木製サイン：10基



↑学校備品再生ポスト



↑木製サイン



←学校備品再生照明

↓A型サイン



事業スキーム

- 絵本美術館空間演出に関する木製備品等調達



工夫・留意した点

- 絵本の世界に合わせた木の温もりをもたらす「空間演出」に必要な備品の調達を行うため、専門的知識を持った業者の選定を行った。

基礎データ

①令和4年度譲与額	12,734千円
②私有林人工林面積（※1）	211ha
③林野率（※2）	23.1%
④人口（※3）	111,281人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1,2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より



大牟田市
ともだちや絵本美術館
<https://tomodachiya.jp/>